

2020年2月3日

国内初となる洋上風力発電事業向けのプロジェクトファイナンスへの投資 ～気候変動問題の解決に向けた再生可能エネルギー事業への投融資推進～

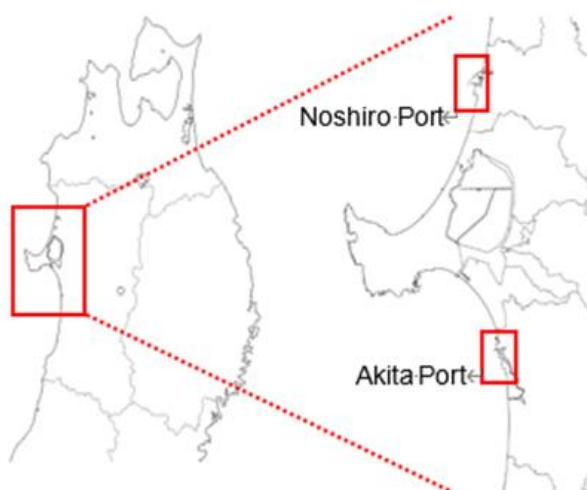
第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、秋田県における洋上風力発電プロジェクトに投資を行うことを決定しましたので、お知らせいたします。なお、国内洋上風力発電事業向けのプロジェクトファイナンスは国内初の取組みとなります。

本プロジェクトは、国内でも有数の風況の良いエリアとされている秋田港と能代港において、総発電容量約140MW(一般家庭約13万世帯相当)の洋上風力発電所の建設・運営を行うものです。本プロジェクトを通じて秋田県の再生可能エネルギー導入の拡大と産業振興が期待されます。

【本件プロジェクト概要】

| | |
|----------|-----------------------------|
| プロジェクト内容 | 秋田港・能代港における、洋上風力発電所の建設・運営事業 |
| 事業者 | 秋田洋上風力発電株式会社 |
| プロジェクト期間 | 2020年2月～2042年(予定) |

【所在地地図】

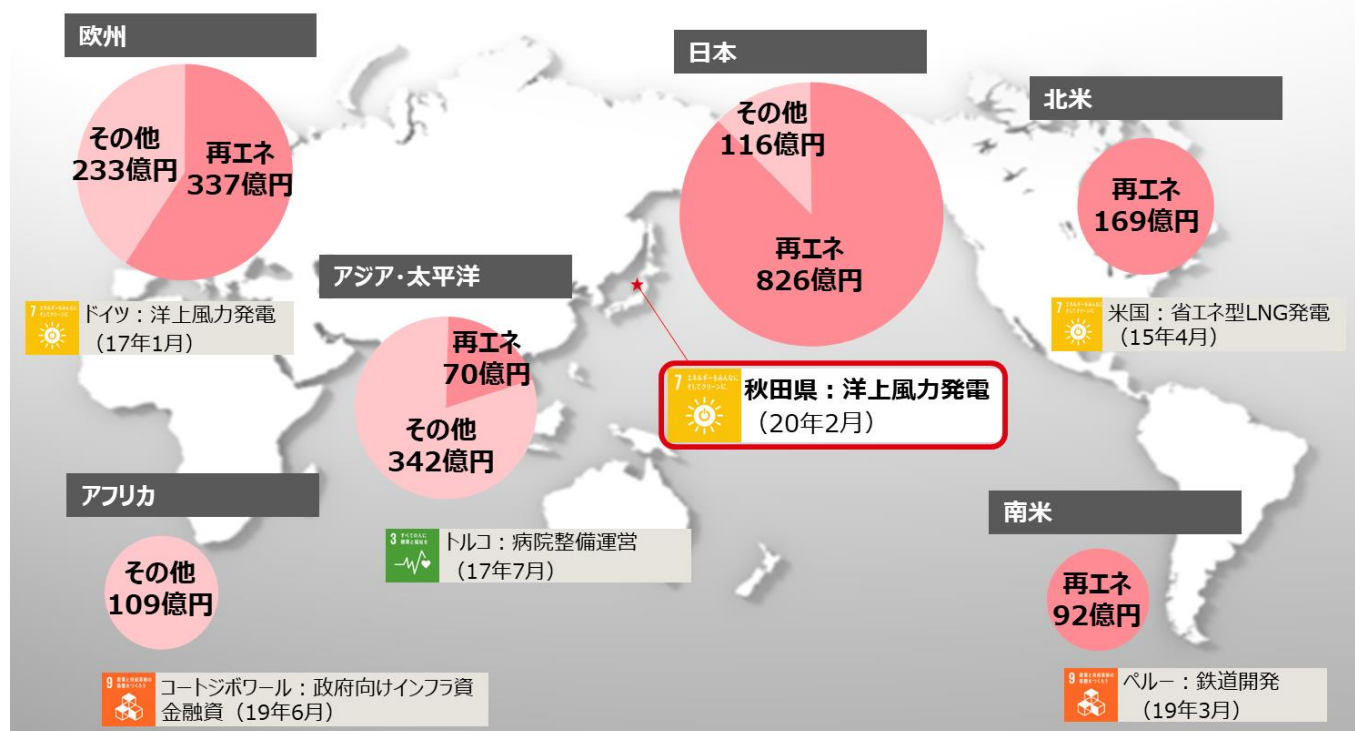


【洋上風力発電所イメージ】



当社は、日本全国の約 1,000 万名の保険契約者からお預かりした約 36 兆円の資金を幅広い資産で運用する「ユニバーサル・オーナー」として、「QOL向上」、「地方創生・地域活性化」、「気候変動問題の解決」を重点テーマとして ESG 投資を推進しており、「気候変動問題の解決」に資する本プロジェクトへの資金供給のほか、これまでも積極的に SDGs 事業への投融資¹を行っています。引き続き運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG 投資に積極的に取り組んでいきます。

<SDGs 事業への投融資実績>



¹ SDGs達成に資する事業(社会インフラ整備・環境保全等)への資金供給